

八戸市美術館 - 出会いと学びの美術館 -

設計コンセプト／西澤徹夫 + 浅子佳英 + 森純平
 設計監理／西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ(現・PRINT AND BUILD)設計共同体
 担当／西澤徹夫 浅子佳英 森純平 宮武壮太郎 小泉立



広場側外観。青森銀行八戸支店との強調開発による敷地交換で広場と美術館を一体的に整備した

新しい八戸市美術館は、収蔵・展示が主役である従来型の美術館像から、地域の文化や風俗に根ざしたプロジェクト型のラーニングプログラムを主体とした美術館像へのアップデートを目指している。そのために、進行中のアート作品や創作活動、アートの枠を超えた市民活動など、多様な活動が共存し、人々が新たな気づきを得たり、互いに学び合ったりできる、包容力と寛容性のある空間が求められた。

そこでまず、誰もが訪れ利用することができ、偶然未知のものに出会えるような巨大な空間「ジャイアントルーム」と、一方プロジェクトをより深化させていくことのできる諸機能に特化した「個室群」というふたつの種類の空間を併置させることとした。各「個室群」の入口は「ジャイアントルーム」に直接面しているの迷わずにアクセスできるが、じつは裏ですべて繋がっている、という平面計画になっている。

「ジャイアントルーム」はエントランスであり、休憩・ワークスペースであり、制作や展示も可能なスペースで、18m×45mの平面、最高高さ17mをもつ巨大な空間である。そのため長手方向に動く、4台の移動収納棚と幅3m×32枚のカーテンを設けて、さまざまな学びのための活動を自由に簡易に仕切られるようになっている。また、諸活動を共存させるために、天井や壁面上部は吸音の仕様になっており、それが大きな空間のアクセントにもなっている。

一方、「個室群」はより具体的に、特定の利用者やアーティストによる制作や展示が可能な個別の仕様になっている。たとえば、ギャラリーは、適度なサイズの2室に分節され、大きい方には2枚の回転壁があることで展示に不慣れな市民でも容易に展示が可能、スタジオは天井から重量物を吊ったり壁にビスを打ったり吸音用の穴に専用の金物を取り付けることでスクリーンや作品を掛けることができる、ブラックキューブは映像作品展示に適した暗室化ができる黒い小部屋で、吸音やプロジェクターやスピーカーの天井りが可能、という具合だ。

このように、複数の部屋から利用者は都度選ぶことができ、特定の活動に一旦は特化しているからこそ返ってそれを裏切ってみたり、意外な使い方を考えてみたり、また「ジャイアントルーム」と「個室群」をさまざまに組み合わせてみたり、といったことができる。何もない抽象的な空間から何が生まれるのではなく、とても具体的な場が人々を触発していく。未だ創造の過程にあるさまざまなプロジェクトを美術館の主軸にしようとするときには、こうした自由さこそが、建築が目指すべき新しいフレキシビリティといえるはずだ。



さまざまな活動の基幹となるジャイアントルーム



ジャイアントルーム内のプロジェクトルーム



最も大きな展示室であるホワイトキューブ



ジャイアントルームと連続するスタジオ

【建物名称】	八戸市美術館
【発注者】	八戸市 美術館
【用途】	美術館
【所在地】	青森県八戸市番町 10-4
【設計】	西澤徹夫 + 浅子佳英 + 森純平 西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ(現・PRINT AND BUILD)設計共同体 西澤徹夫 浅子佳英 森純平 宮武壮太郎(元所員) 小泉立 オーノ JAPAN 大野博史 藤本智 海老沢孝秀(元所員) 森村設計 吉田崇 川口智之 水谷貴俊 三野誠 西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ(現・PRINT AND BUILD)設計共同体 西澤徹夫 浅子佳英 森純平 宮武壮太郎(元所員) 小泉立 原井喜雄(石川設計) 橋本徳浩(橋本設計) 大瀧英知 大石佳奈(総合設計研究所)
【構造設備監理】	ラボラトリーズ 加藤賢策 奥田奈保子(元所員) 岸田 紘之(元所員)
【サイン】	

カーテン	安東陽子デザイン 安東陽子 山口かずみ
照明	飯塚千恵里照明設計事務所 飯塚千恵里
音響	森純平 土倉律子
防災	安宅防災設計 鈴木貴良 白谷健太郎
積算	アーキ・ピーアンドシー 上木貴博
【施工】	
建築	鴻池組・田名部組・東復建設 特定建設工事共同企業体
電気設備	ユアテック・溝口電気 特定建設工事共同企業体
機械設備	ダイダン・サカモト・菱 特定建設工事共同企業体
外構	穂積建設工業株式会社
【規模】	
構造	鉄骨造 3階建
敷地面積	6732.14m ²
建築面積	3080.21m ²
延床面積	4844.95m ²
【設計期間】	2017年3月～2019年1月
【工事期間】	2019年4月～2020年12月(本棟) 2021年4月～2021年9月(外構)